

# のおもてなし 里がえり里まつり



ミルクくずもち作り方講習会（森牧場）

## 第6回花の風まつり

4月29日から5月6日に  
けて、町を訪れた観光客に楽  
しんでもらおうと、心づくし  
のおもてなしを行う「花の風  
まつり」が商店街や民家など  
町内全域で開催されました。

今年で6年目となるこのイ  
ベントは有志で組織する「花  
の風まつり会」が主催するも  
ので、那珂川町となつてから  
は小川地区の参加団体も加わ  
り、今年は80団体がさまざま  
な観光イベントを繰り広げま

した。

たけのご堀りや陶芸、勾玉  
づくりなどの体験型イベント  
や音楽会、絵画展や写真展、  
竹芸展、庭園接待などを催し、  
町内外から親子連れなどが訪  
れ、たくさんの人出でにぎわ  
いました。

また、5月1日から3日に  
かけて、静神社例大祭「馬頭  
たけのご祭り」が催され、馬  
頭地区の中心商店街で県内最  
古の彫刻屋台2台の引き回し  
が行われました。今年の当番  
町は新町で、3日には茨城県



「まほるぼがたり」に聞き入るお客さま  
（伊藤博康宅「こいのぼりといちご一会」）

## 自らも楽しみながら参加するおもてなし



「花の風まつり」を取りまとめた馬頭観光協会事務局  
長の小室利次さんにお話を伺いました。

今年で6回目となる「花の風まつり」は「ゴールデン  
ウィークの広重美術館に来館したお客さまに町内で  
楽しんでもらいたい」と思い、始めたのが契機

となり、乾徳寺の檀家の方などが中心となって、町全体に広がったそうです。

参加者にはマンネリ化を防ぐために、毎年目先を変えて「たけのご祭り」の歴史を  
生かしたおもてなしの工夫をお願いしているそうです。

「お祭りは皆平等。参加者ができるおもてなしを自らも楽しみながら実施する  
というのが基本的なスタンスなので、何も苦労した点はない」と謙そん。

「ようやく、このお祭りが定着しリピーターも増えてきたので、これからは、  
2、3日宿泊しながらさまざまな体験ができるようなイベントにできれば」と将来への夢を語っていました。

磯節保存会による「民謡と踊  
り」が披露されました。  
また、御帰社では色とりど  
りの衣装を身にまとい、ちょ  
うちんに金棒を持った稚児が  
練り歩きました。見物客はさ  
かんにカメラのシャッターを  
切っていました。



たけのご堀り  
（盛谷なごみの里）



親子屋台引き回し

花の風まつり  
心づくし  
「里めぐり」



稚児行列



ちびっこわーど(道の駅)



竹とんぼづくり(和見小)



岡倉ゆかりコンサート(和見小)



お抹茶接待(広重美術館入口)



まほろば語り(ふるさとの森公園)



竹芸展(すくすくの森)



山野草の盆栽展(乾徳寺)